

JAL 不当解雇撤回原告団 御一同 様

激励と連帯のメッセージ

裁判闘争の勝利めざして日々奮闘する御一同様に心から敬意を表します。

さて、JAL 経営陣が不当解雇を強制した 2010 年末から 2 年と 10 ヶ月。資本側の真の意図がいよいよ鮮明になりつつあります。

日航労働者 165 名の誇りと生活を踏みにじったその狙いは、解雇四要件の法理を葬り、首切り自由社会への突破口づくりでしかありません。

そして、その目的は日本社会を多国籍企業の楽園に改造し、利潤追求に最大限の便宜を図ることにあります。したがって、この闘いの相手は JAL 資本の背後に構える総資本との闘いでもあります。

もしも、裁判闘争で資本側に押し切られるようなことがあれば、解雇特区構想に象徴されるような労働者の無権利大国ができあがってしまいます。

その意味で、原告団御一同様の闘いは全労働者の運命を左右する闘いだと認識しております。

秋田県の私たちも、この闘いの重要性をふまえ、支援と連帯の運動をすすめていく決意を表明し、また、原告団御一同様の一日も早い職場復帰を祈念して、激励と連帯のメッセージといたします。

2013 年 10 月 25 日

不当解雇とたたかう日航労働者を支える秋田の会

代表 加藤 麻里